

## 電照栽培による花壇苗の開花促進効果

### [研究のねらい]

花壇苗市場では、花の咲いていない苗（ラベル苗）よりも開花した苗（花付き苗）が高値で取引されていることから、開花した苗を一般の栽培では花が咲かない時期に出荷できれば有利販売が可能と考えられます。花壇苗として栽培される多くの品目は長日条件で開花が促進されるため、電照栽培（白熱灯を用いた長日処理）による最適な開花促進方法について明らかにします。

### [研究の成果]

- ①花壇苗における電照栽培では、16 時間以上の長日処理（光照度：100lux 以上）を行うことにより、パンジー、ペチュニア、ロベリア、クリサンセマム、キンギョソウ、テルスターなどの多くの品目で開花が促進されます（図表省略）。
- ②電照の時間帯を夜明け前とすることにより、他の時間帯における処理と比較して、苗の徒長は小さくなります。（図表省略）。
- ③発蕾期以降は電照を打ち切ることにより、苗の徒長は小さくなります（図表省略）。
- ④電照処理により日長時間を 16 時間、光照度を 100lux に設定し、夜明け前の電照処理を発蕾確認まで行う電照栽培方法は開花促進効果が高く、徒長による苗の品質低下を比較的に低く抑えることができます（図 1、図 2、写真 1、写真 2）。

### [成果の活用面・留意点]

- ①上記の方法においても、電照栽培では無電照よりも苗がやや徒長するため、今後はさらに徒長を抑制する栽培管理方法の検討が必要です。

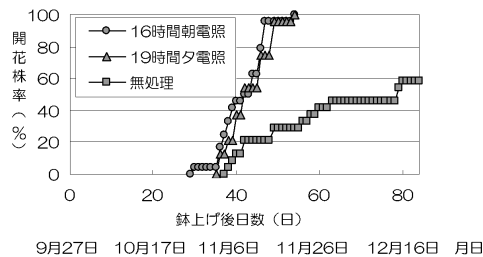


図 1 電照栽培条件の組み合わせとパンジーの開花株率

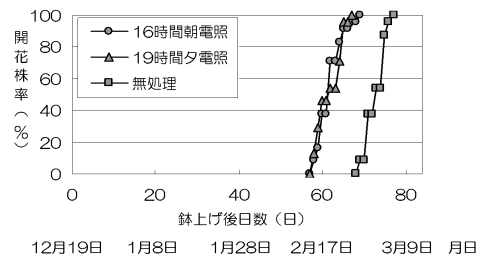


図 2 電照栽培条件の組み合わせとペチュニアの開花株率

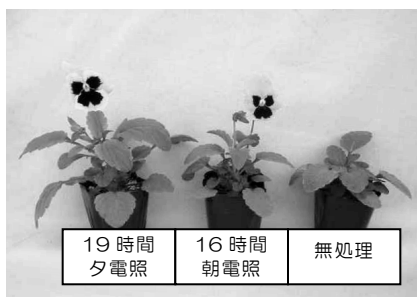


写真 1 電照栽培条件の組み合わせとパンジーの開花



写真 2 電照栽培条件の組み合わせとペチュニアの開花

### 注)電照栽培条件

19 時間夕電照：日長時間を 19 時間、光照度を 200lux に設定し、日没後の電照処理を開花まで行った

16 時間朝電照：日長時間を 16 時間、光照度を 100lux に設定し、夜明け前の電照処理を発蕾確認まで行った

### 供試品種

パンジー‘マキシムゴールデン’

ペチュニア‘プライムタイムライトブルー’

実施年度：平成 16～18 年度

担当者：矢部泰弘・島浩二・川西孝秀